

# 学習課題（小学校3年生）



【国語】計画を立てて少しづつ取り組んでいきましょう。

## ＜学習内容＞

◆「まいごのかぎ」（教科書65～81ページ）にとりくみます。前回は、場所と出来事に気を付けて場面分けをしました。

- ①物語のさいしょとさいごでは、「りいこ」にどのような変化がありましたか。不思議な出来事にたいする「りいこ」の考え方や気持ちに気をつけながら、【書き方のれい】をさんこうにして、ノートや取組シートに表をつくって、まとめましょう。

|  | バス | お魚 | ベンチ | 木さくらの | り道                | 学校の帰             | 場面                             |        |
|--|----|----|-----|-------|-------------------|------------------|--------------------------------|--------|
|  |    |    |     |       | た<br>かぎを見つけ       | こがねいろの<br>かぎ     | 出来事                            | 最初のりいこ |
|  |    |    |     |       | つた<br>気持ちがすこし元気にな | ↓今まで落ちこんでいた<br>た | りいこの考え方<br>・気持ち<br>「元気を出して顔をあげ | 最後のりいこ |

うつむきながら、しょんぼりしていた。

- ②表にまとめて考えたことや感想をノートや取組シートに書きましょう。

◆87、89ページで学習する新出漢字（区～申まで）をノートに練習します。

- 例：①155ページを見て、書き順を指で書いてみましょう。
- ②読み方・使い方を声に出して、言ってみましょう。
- ③漢字をノートに書きましょう。
- ④出てきた漢字を使って、文を作りましょう。

## ＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

- ・表にまとめるときは、まず、「最初と最後のりいこの変化」について考えてみるのもよいです。その際に、「最初と最後の気持ちが大きく変わっているけど、どこで変わったのかな？」などと問い合わせ、各場面を読む必要感を高めると効果的です。



## 【社会】

### ＜勉強すること＞「まちの人たちの仕事」

◆ 「まちの人たちの仕事」（教科書36～37ページ）や地図帳、学校で使っているしりょうなどをさんこうに、札幌市の人たちの仕事について、ノートやとりくみシートにまとめましょう。

- (1) わたしたちの住むまちには、どのような仕事をしている人たちがいるかな。教科書36～37ページの写真を参考に、3つ以上書いてみよう。
- (2) 下の仕事をしている人たちがいることとわたしたちの生活には、どのような関係があるかな。
  - ①玉ねぎなどをつくる農業の仕事をしている人
  - ②スーパー・マーケットではたらく人

### ◆ 「地図記号」の復習をしよう。

- (1) つぎの場所の地図記号を調べて、書いてみよう。  
①田 ②畑 ③かじゅ園 ④ゆうびん局 ⑤発電所  
※教科書35ページを見てたしかめよう。

### ＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

- ・普段の生活を思い出し、それに関わる職業を見付けるようにすると、生活とのつながりを実感しやすくなります。

## 【算数】

<学習内容>◆「たし算とひき算」④（教科書41ページから42ページまで）

いろいろなひき算にちょうどせん！  
まずは「見つもり」をしてみよう。

**見つもり**…こたえがいくつくらいになるか、見当をつけること

見つもり

$$600 - 200 = 400$$

答えは400より大きいね。

見つもり

|   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
| ① |   | 6 | 3 | 7 |
|   | — | 2 | 8 | 5 |
|   |   |   |   |   |

|   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
| ② |   | 9 | 2 | 7 |
|   | — | 7 | 8 | 9 |
|   |   |   |   |   |

筆算をして、  
答えを出そう。

※一の位から計算するよ。  
※くり下がりをわすれないように、線や数をかこう。

①も②も答えを出せたかな？これまでのもんだいとどこがちがうかを考えて、せつめいしよう。  
(前の時間は「352 - 214」だったよ！)

①…「352 - 214」は十の位からくり下がりを1回したけど、

①は百の位からくり下がりを1回した。

②…

つぎのもんだいは、どこがこれまでとちがうか分かるかな？

<もんだい>

さいふに304円入っています。

128円使うと、のこりは何円になるでしょうか。



式

|   |   |   |   |
|---|---|---|---|
|   | 3 | 0 | 4 |
| - | 1 | 2 | 8 |
|   |   |   |   |



あれ?  
十の位が〇のとき、どのように  
くり下げればいいのかな?

これまでの学習を生かして、計算してみよう。

十の位が0のときの、筆算のしかたをまとめよう。

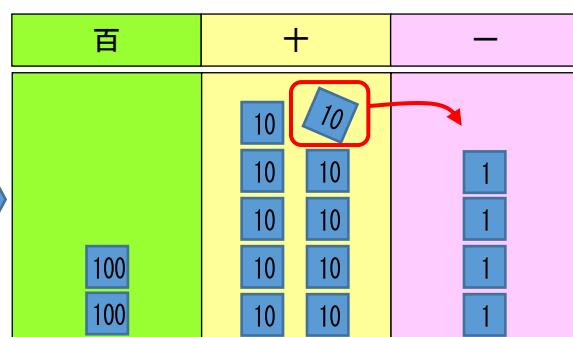
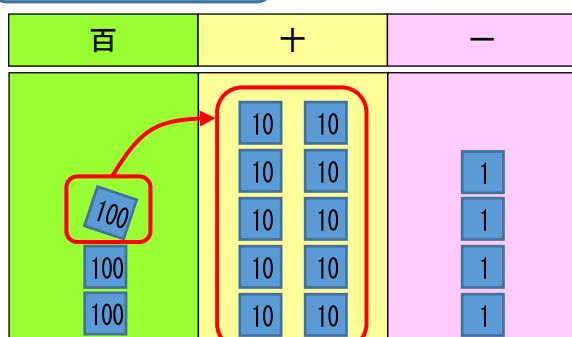
$$\begin{array}{r}
 \begin{array}{r}
 2 & 10 \\
 3 & 0 & 4 \\
 - 1 & 2 & 8 \\
 \hline
 \end{array}
 \end{array}
 \xrightarrow{\hspace{1cm}}
 \begin{array}{r}
 \begin{array}{r}
 2 & 10 & 14 \\
 3 & 0 & 4 \\
 - 1 & 2 & 8 \\
 \hline
 6
 \end{array}
 \end{array}
 \xrightarrow{\hspace{1cm}}
 \begin{array}{r}
 \begin{array}{r}
 2 & 10 \\
 3 & 0 & 4 \\
 - 1 & 2 & 8 \\
 \hline
 7 & 6
 \end{array}
 \end{array}
 \xrightarrow{\hspace{1cm}}
 \begin{array}{r}
 \begin{array}{r}
 2 & 10 \\
 3 & 0 & 4 \\
 - 1 & 2 & 8 \\
 \hline
 1 & 7 & 6
 \end{array}
 \end{array}$$

どこで計算を  
しているかな?  
に数を書こう。

$$\boxed{\phantom{00}} - \boxed{\phantom{00}} = \boxed{\phantom{00}}$$

$$\boxed{\phantom{00}} - \boxed{\phantom{00}} = \boxed{\phantom{00}}$$

$$\boxed{\quad} - \boxed{\quad} = \boxed{\quad}$$



上の図をヒントにして、「 $304 - 128$ 」の計算のしかたをせつめいしよう。

---

---

---

「たしかめ」のもんだいを算数のノートにやって、学んだことをたしかめよう。  
教科書41ページ 13・14・15 教科書42ページ 16・17

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

## ◆たし算とひき算（教科書 P41～42）

- ・くり下がりの際、数を書き直したり「1」を書かなかつたりせず、誤ってしまうことが多いです。数のまとめを捉えることが難しい場合には、実物のお金を使うことで、繰り下がりの仕組みを理解する助けになるかもしれません。

## 【理科】

<勉強すること>

◆教科書「たしかめよう」(35ページ)を見て、学習のまとめをしましょう。

① 「たしかめよう」を考えて、取組シートやノートに書きましょう。

※これまでの学習を思い出そう。

※**1**の(3)は、取組シートやノートに図をかきうつして、あしをかき入れてみましょう。

②教科書「虫めがねの使い方」(164ページ)をさんこうに、虫めがねの使い方を考えましょう。

※虫めがねがあれば、小さい物を大きく見てみましょう。

【動画を参考に見るのもよいでしょう】

NHK for School「虫めがねの使いかた」



[http://www2.nhk.or.jp/school/movie/clip.cgi?das\\_id=D0005300084\\_00000&p=box](http://www2.nhk.or.jp/school/movie/clip.cgi?das_id=D0005300084_00000&p=box)

- ・この学習では、これまでの学習を思い出し、チョウの育ち方や昆虫の体のつくりについて考えることを大切にしています。
- ・「モンシロチョウはたまごからどのように育ったかな。」「モンシロチョウの体にはどんな部分があったかな。」などと、これまでの学習を思い出しながら考えられるように声をかけてあげてください。

## 【体育】

けがをしないよう、まわりをよくたしかめて取り組みましょう。

＜べんきょうすること＞

※動画を見られる場合は、右のQRコードを使ってください。

<http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/shido/nawatobi.html>



◆「なわ跳び」にとりくみましょう。

一つずつクリアしていくと、2重跳びができるようになりますよ。

○前とびのやりかた



わきをしめて  
手くびをはやくまわします

わきに本をはさんでいる  
つもりでとびましょう

○リズムの練習



むねのまえ ふともものよこ

こつは、わきをしめて手首を早くまわすことです。わきに本をはさんでいるつもりで跳びましょう。また、つま先で着地すると、上手に跳ぶことができます。30秒で70回くらいとべるようになると、2重跳びができるようになるといわれています。

なわを持たずに、2重跳びのリズムをおぼえます。跳んだときに、むねの前で手を2回たたいたり、太ももを2回たたいたりします。

○なわ回し



なわを早くまわすためには、手くびの動かし方が大切になります。片手ずつ、左右両方やってみよう。

○「2重跳び→前とび」のくり返し



2重跳びと前とびを組み合せます。最初は2重跳びをする時にひざを曲げて高く跳びましょう。次に前とびを3→2→1回と減らしていきます。できたら連続2重跳びにチャレンジしてみよう。

◆連続で何回跳べたかや、30秒で何回跳べたかを数えてみよう。

※余裕があれば、前に紹介した跳び方で二重跳びに挑戦するなどの工夫をしてみましょう。くり返し取り組めると、上手になりますよ。

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

跳んだ回数を数えてあげたり、こつをうまく生かして跳んでいる姿を褒めてあげたりして、継続して取り組む意欲へつながるよう声をかけてあげてください。